

各 位

平成 21 年 12 月 18 日
SBI ベリトランス株式会社

**クレジットカード データセキュリティ基準「PCI DSS」最新版 1.2 の対応ならびに
ビザ・ワールドワイドの定めるプログラム「Visa Registry of Service Providers Program」
の更新完了に関するお知らせ**

オンライン決済ソリューションを提供する SBI ベリトランス株式会社(東京都港区 代表取締役:沖田 貴史、以下、「SBI ベリトランス」)はこのたび、国際カードブランド 5 社が採用するデータセキュリティ基準である「PCI データセキュリティ基準」(以下、「PCI DSS」)の最新版 1.2 の対応ならびに、国際カードブランドである「ビザ・ワールドワイド」(以下、「Visa」)が運営するサービス・プロバイダ向けプログラム「Visa Registry of Service Providers Program」の更新が完了したことをご報告いたします。

PCI DSSとは、2004 年 12 月にビザ・インターナショナルをはじめとする国際カードブランド 5 社が、クレジットカード情報を取扱うサービス・プロバイダ(決済サービス事業者等)を対象に共同で策定した、クレジットカードの情報保護に関する国際基準です。カード情報や決済情報を保護し、カードの不正利用、セキュリティ事故による信用の低下、訴訟、罰金といったビジネスリスクを軽減するために、セキュリティポリシー及びルール、運用セキュリティ、技術的セキュリティ、物理的セキュリティなどを確保するための 12 の要件で構成されています。

SBIベリトランスは、2005 年 5 月にバージョン 1.0 を、2007 年 3 月にバージョン 1.1 を、国内第一号としてそれぞれ認証の取得を完了しております。そしてこのたび、「PCI SSC」*1によって承認された認定審査機関の訪問審査を受けた結果、最新版 1.2 の対応が認定されました。

また、SBI ベリトランスは「Visa Registry of Service Providers Program」に、国内第 1 号として認証の取得を完了しておりますが(2008 年 12 月)、引き続き Visa への更新を申請し、受理されたことをご報告いたします。

「Visa Registry of Service Providers Program」とは、PCI DSS 対応促進策の一環として、クレジットカード番号等の重要なデータを取り扱う「サービス・プロバイダ」を対象に、PCI DSS 対応完了企業名を Visa にて開示するプログラムです。これにより EC 事業者は、Visa が認めるセキュリティ基準を順守している安心な決済サービス事業者を確認・選択することができます。

昨今、顧客の個人情報を取扱う EC 事業者等による情報流出事件が多発しており、各事業者においてもサイトのセキュリティ面の強化はますます重要な要素となってきております。SBI ベリトランスは今後とも、高いセキュリティ環境の維持・提供を一層徹底して行い、安全性の高い決済システムの普及に努めて参ります。

NEWS RELEASE



※1 PCI Security Standard Councilの略

2006年9月に、PCI DSS 基準の維持管理や普及を目的として組織された国際団体
各国際カードブランドが加盟している

【本件に関するお問い合わせ先】

SBI ベリトランス株式会社 コーポレートブランディング室 担当：伊藤 / 山口(IR)

Tel: 03-6229-0850(代表) Email: pr@veritrans.co.jp

※記載されている会社名、商品名は、各社の商標あるいは登録商標です